



Let's do it now!

2022に向けて誇りを持って All is well.

2020-2021年度
西日本区理事 古田 裕和

1年間理事通信をお読みいただきありがとうございました。 西日本区大会でお会いしましょう!

例年よりかなり早い梅雨入りでしたが、皆さま体調はいかがでしょう。また新型コロナウイルスの影響もまだまだ続き、緊急事態宣言も6月20日まで延長されるなど明るいニュースのない日々が続きます。まあ多少明るいニュースといえばワクチンの接種が始まったことですかね。

新型コロナウイルスについてはあまり書きたくないのですが、今月の理事通信は遂に最終号となりました。そこで1年を振り返ると、どうしても新型コロナウイルスについて触れないと振り返りができないほど、コロナで始まりコロナで終わる1年間でした。しかし、コロナの影響で我々の活動がかなり制限されることも予想しましたが、リモートをうまく使うことにより例会や委員会などを開くことができるようになりました。またクラブを超えた部の集まりなども可能になりました。特に今期、部会は全て中止になるかと思っていたところ瀬戸山陰部と阪和部で会場とリモート参加のハイブリッド形式の部会も開催されました。IBC・DBCにおいても特にDBC交流がリモートにより例年より頻繁に行われるという嬉しい現象も起こり、コロナにより色々な制限を受ける中、いつもではできないようなことも起こってくるという経験もさせてもらいました。

また今期のジェイコブ・クリステンセン国際会長が提唱されたWeek4Wasteというクリーンキャンペーンですが西日本区においてもかなり多くのクラブや部で実施していただきました。この様子は各クラブのブリテンやアジア太平洋地域のブリテンなどで紹介されました。

このキャンペーンは取り組みやすく個人でもグループでも参加できる非常に面白い事業かなと思いました。

このコロナ禍で難しいと思っていた事業の中にIBC締結も入るのかなと考えていました。

しかしネパールのルンビニYサービスクラブのIBC締結クラブ募集という呼びかけに北九州クラブが名乗り出ることになりました。昨年10月に初めてリモートによる初対面を果たされ、その後何度もミーティングを重ねられ5月29日にIBC締結式を開催されました。当日は国際書記長やアジア太平洋地域会長など60名の参加者があり素晴らしい締結式になりました。今後この両クラブはネパールに日本語学校を作るプロジェクトを進めていかれるということでした。その日本語学校の学生を留学生として北九州YMCAに迎えたいという夢も発表されていました。両クラブの皆さまおめでとうございます。

西日本区大会は食事などかなり制限を受ける形になりましたが、予定通り6月5日・6日に開催します。会場参加とオンライン参加のハイブリッドで行います。楽しみにしておいてください。

理事通信ですが今月号が今期の最終号です。おそらく読んでいただくに、ふさわしい文ではなく、稚拙な表現なども多かったのではと反省しています。申し訳ございませんでした。

そして1年間理事通信をお読みいただきありがとうございました。

また理事通信に原稿をお寄せいただきました皆さま、お忙しい中、執筆をお引き受けいただきましてありがとうございました。では西日本区大会でお会いしましょう!

主に望みをおく人は新たな力を得る。

イザヤ書 40:31

聖書の小窓「コロナ禍の闇の中で」

私たちの人生に力を与えてくれるのは何？友達、家族、お金、もの、趣味。聖書には「主に望みをおく」ことだと言います。望みが与えられた時「新たな力」を得ることができます。

学生の頃、10歳の少女の白血病治療に協力しました。毎月1回の成分輸血の協力でした。彼女には天に召される前に、一度だけ病室で会うことができました。お父さんと一緒に聖書を読み祈りの後、彼女は言いました。「ハッピー、昨日聖書を読んでいたらイザヤっていうところに『主に望みをおく人は新たな力を得、驚のように翼をはって上る。走っても弱ることなく、歩いても疲れない』と書いてあった。神様の国にいったら、病気なおるよね。走れるね。家族でいっしょにご飯たべられるね。それに空も飛べるよね。神様がそう教えてくれたんだよ」と。

自分の死の前に復活の命について受けとめていました。そこに望みをおいた彼女は新しい力を得ていました。ワイズ活動もコロナ禍の中で「望み」を探しています。どこに希望を置いて活動すべきかを共に考えてまいりましょう。

日本福音ルーテル広島教会（松山教会兼務） 牧師：立野泰博

■YMCA報告

YMCAでは、2021年度が始まりましたが、再度、緊急事態宣言、蔓延防止措置など全国で困難が続いており、こころを痛めております。世界に目を向けても、困難を克服しつつある地域と、これからさらに困難が予想される地域などの格差を心配します。また、香港、ミャンマー、イスラエルとパレスチナなどでは、紛争が発生し、多くの尊い命が失われ、この瞬間にも、危険にさらされている多くの子供たちや人々のことを覚え、祈るばかりの毎日です。私たちは、微力かもしれませんが、決して無力ではないことを今こそ強く心に灯しつつ、歩んでいくことが必要です。

しかしながら、どのような困難の中にあっても、世界を見つめ、地域に生きるYMCAの働きを進めていくことが、YMCAとしての使命であると考え、私たちは前進しています。

2021年度からスタートする「日本YMCA中期計画2021-2023」は、「光は闇の中で輝いている」をテーマにして、社会全体の先が見えない中であっても、明確になっている社会課題にフォーカスを続けます。そして、YMCA運動の進むべき方向性ははっきりと見出し、今こそ「ポジティブネットのある豊かな社会の創造」を目指し、リジリエント、リカバリー、リイマジネーションをキーワードとして一歩ずつ歩みます。

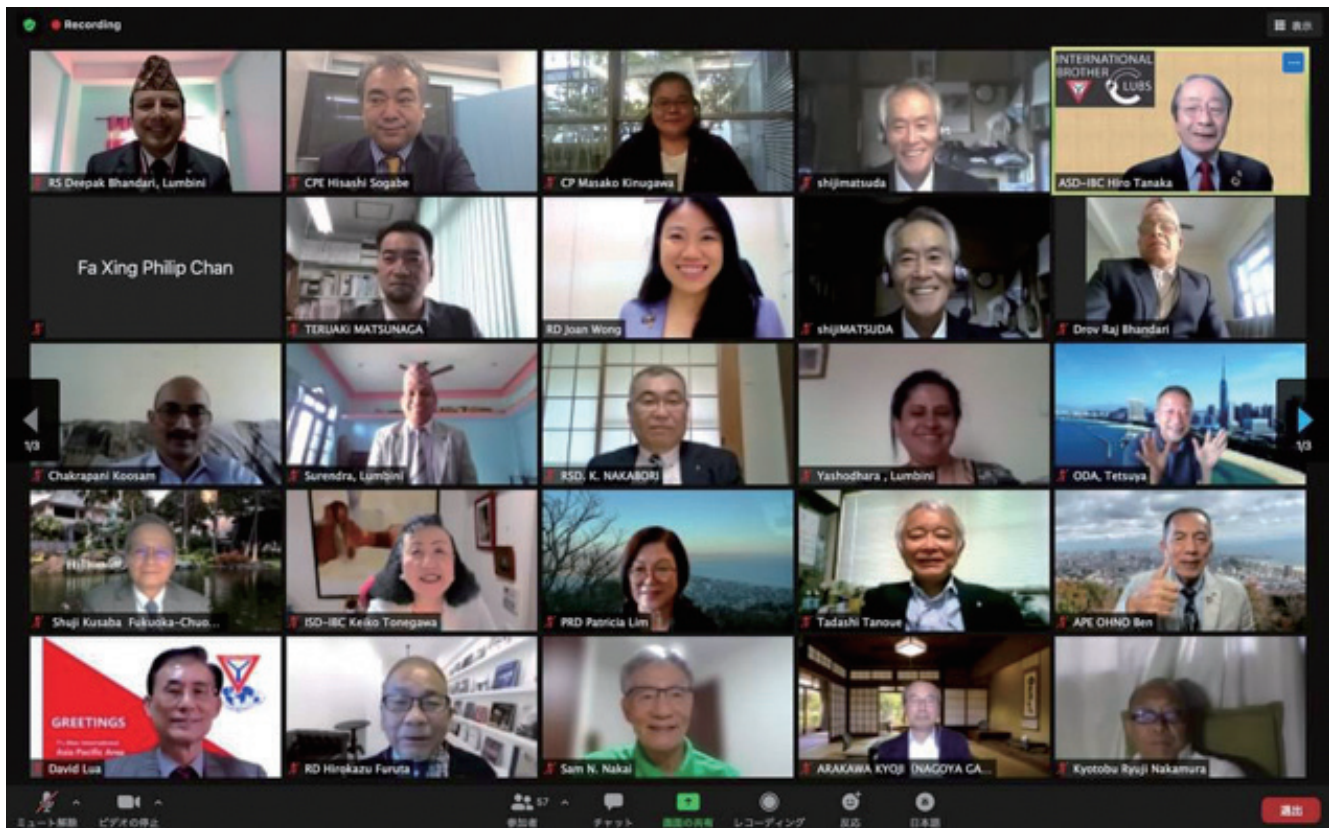
全国YMCAを見ると、多くの事業が影響を受けながらも、懸命に地域との連携や協働を進めているYMCAが多く、それぞれの与えられた賜物を生かし続けて活動しています。その中には、多くのワイズメンの皆様、メネットの皆様のご尽力による励ましが各地に存在していることは間違いありません。

ワイズメンズクラブの全ての皆様のお支えに心から感謝しております。まもなく、激動の今期東日本区板村理事期、西日本区古田理事期のまとめの時期を迎えます。多くの励ましをいただきながら共に歩んできた1年でしたが、今後ともYMCAと共に歩み祈りを合わせていただければ幸いです。今後とも情報の共有、発信など双方向のパートナーシップ推進を目指してまいります。いつもありがとうございます。

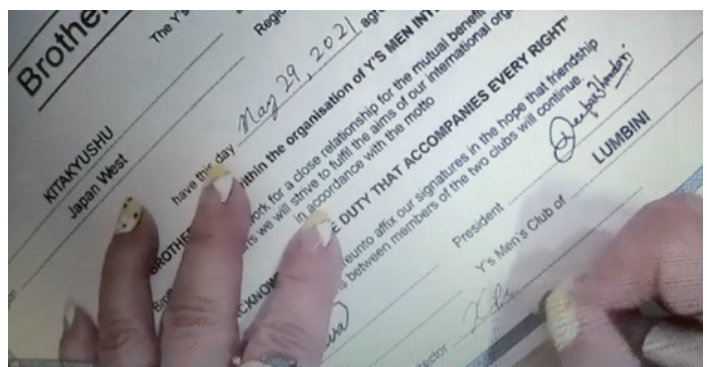
日本 YMCA 同盟 担当主事 光永尚生 (三島クラブ)

■北九州クラブ&ルンビニ(ネパール) クラブ IBC締結 報告

国際・交流事業主任 中堀 清哲



この1年はコロナウィルス禍に翻弄され、ワイズメンズクラブの活動もかなりの制限を受けました。昨年7月にキックオフを迎え、不安の最中に今期が始まった時には「交流などは出来るはずがない」と思ったものですが、去る5月29日(土)に奇跡が起きました。北九州クラブとネパールのルンビニ クラブがIBC締結されました。アジア太平洋地域IBC事業の田中博之主任の紹介でルンビニクラブが北九州クラブと接触したのが昨年10月でした。北九州クラブのDBC関係の川越クラブに国際IBC事業の利根川恵子主任が居られたのも大きな助けとなりました。ルンビニクラブは2019年に設立された新しいクラブですが、ネパールの若者達や子供達への支援活動を熱心に行っております。永年にわたり、北九州YMCAの日本語学校などを支援してきた北九州クラブでしたので、10月16日の初合同例会から共通の話題で盛り上がり、毎月の合同例会を重ねました。そして、将来ネパールに日本語学校を設立する！という共通目標を掲げ、IBC設立に至りました。コロナ禍故に生まれた、オンラインによるIBC締結はまさに新しい時代の国際交流のページを開いた画期的な事ではないかと思えます。当日は田中博之主任の司会のもと、古田西日本区理事、SEA区 Joan Wong理事、国際 Jose Varghese書記長、国際、地域、両区、両部の役員の前、立会人はじめ、60名を超える多数の参加者もあり、盛会に終わりました。今後の両クラブの交流の末に目標である日本語学校設立に向けてアフターコロナの活性化の糧としていただきたいものです。皆様方のご理解とご協力を引き続き賜りますようお願い申し上げます。



■6月の西日本区強調活動

評価と引継ぎ

自分自身の成長のため、クラブの発展のため、個人やクラブで立てた目標に対する評価の時間を必ず作りましょう。その時間を有意義な時間にすることが今後の成長や発展のためには不可欠です。

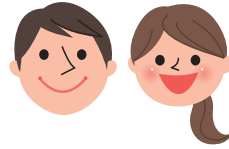
西日本区 理事
古田 裕和(京都トゥービークラブ)

■新しい仲間をご紹介します

5/8 入会	水田 典男	奈良クラブ	阪和部
5/8 入会	四本 英夫	奈良クラブ	阪和部
5/8 入会	神崎 清一	奈良クラブ	阪和部
5/11入会	苗村 昌碁	京都キャピタルクラブ	京都部
5/11入会	渡邊 えみ	京都キャピタルクラブ	京都部
5/11入会	下村 治生	神戸西クラブ	六甲部
5/11入会	阪本 龍太郎	神戸西クラブ	六甲部
5/19入会	田中 満紀子	京都グローバルクラブ	京都部
5/25入会	古川 通大	神戸クラブ	六甲部



■新しい発見!!是非お読みください!!



ワイズで自慢したい! 教えたい!知ってもらいたい わたしの横顔!

理事通信では各事業役員会などの情報を毎月、西日本区のワイズのみなさんに発信してまいりましたが、今期は新型コロナウイルスの影響により交流にも制約がありワイズとのふれあいも少なくなり、ワイズの皆さんは西日本区、各部の役員の皆様のあたたか〜い人間的な横顔を知らないのでは??と考えました。そこで特別企画として、お堅い話は一切ナシ!役員の皆様の意外な一面をクローズアップして楽しく読んでいただけるコンテンツとして「わたしの横顔」を企画することに致しました。



「ワイズメンズクラブでの私の目標」

九州部 部長

松永 英明 (鹿児島クラブ)

今期九州部部長を仰せつかりました鹿児島クラブの松永英明と申します。ワイズメンズクラブに入会しまして12年になります。鹿児島クラブは現在13名で活動をしています。嬉しいことに昨年創立30周年を迎えることができました。鹿児島県知事、鹿児島市長、西日本区古田裕和理事をはじめ、西日本区各地からたくさんのメンバーがお祝いに駆けつけていただきました。改めて感謝申し上げます。鹿児島クラブは創立以来、鹿児島にYMCAを創ろうを合言葉に紆余曲折ありながらも、10年前に鹿児島YMCAが誕生しました。今ではチアダンスが有名で大きな大会やイベントに多数参加しています。そのようなYMCAを私たちはサポートしながら、毎月の定例会、各事業の活動しております。今期はこのコロナ禍でなかなか対面例会が出来ず悪戦苦闘しましたが、最近ではリモート会議ができるまでになりました。また、部長を輩出したことで、会員の皆様には本当に大変な1年だったと思います。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ただ、私にとりましてはターニングポイントなる重要な1年になりました。これからのワイズライフ、活動が本当に楽しみです。というのも、私はワイズライフの目標のひとつに全クラブを訪問したいと願望があります。他の会員の皆様とは西日本区大会や各部会でしかお会いすることができません。特に今期はコロナ禍でなかなか各部会、各種事業、各クラブ訪問等ができないと嘆いていましたが、やっぱりワイズの醍醐味は会員と交流です。それも全国各地いや世界中の会員と交流ができることです。自分の思いや考え次第ではこれほど楽しい夢のある組織はないと思っています。いつの日か皆様のクラブにお伺いすると思います。その時は何卒よろしくお願いたします。西日本区の全ての会員の皆様ますますのご活躍とご多幸を祈念いたします。





部長の 「笑えない最近のプロジェクト調査」

六甲部 部長

安行 英文 (さんだクラブ)

コロナ前までは、年に数回「国際プロジェクト」を実際に実行し、現地に利益がもたらされ、持続的な発展と貧困の改善につながるかどうかの現地調査に旅をすることが多く。まともなホテル生活など無縁の状態がつづいているので、家族から「絶対やめてくれ」とキツイお言葉を頂戴しているのが日常でした。

ちょうど、2年前に「パキスタンの名前のない子どもたち」の調査と、そこからイスラマバードに戻るほうがよいか、ウイグル自治区を通過して中国に抜けるほうがよいか(まあ、どっこいどっこいのリスクだが)と思案のうえ、ウイグル自治区を抜け、中国から帰国するほうが、はるかにリスクが軽減されることを確信し、およそ 4000 キロの旅に出かけた。

なぜ、人権問題とジェノサイドが行われているような所を通過して、中国から帰れるかって？

勿論、カラコルムハイウェイは戻ること命をなくす方がはるかに確立が多いからなんです。(笑)

さて、さて、「名前のない子どもたち」は底辺の階級の民族で、川沿いを移動してガーネットなどを集めて、それを売って生活をしている人たちの子どもです。子どもが多いほど、働き手として使えるので、沢山の子どもがいます。親たちは、そんな子どもたちにいちいち名前など付けない。つまり No 1、2、3 というようなものです。さてこの子どもたちをどう助けるのか、みなさんも一度考えてみてはどうでしょうか。

ちなみに、パキスタンへは1日1便、パキスタン航空が飛んでいます。これに乗るのも相当の覚悟がいります。

パキスタン航空=PIA=パキスタン・インターナショナル・エアウェイ=Perhaps I arrived (笑い)



パキスタンの子どもたち

カラコルムハイウェイ





「釣り哲学考」

西日本区 会計

小幡 弘（京都トゥービークラブ）

「ライフスタイルは何？」と問われれば「魚釣り」と即答する。一口に魚釣りと言っても魚種や釣法は各種ある。私がこよなく愛する釣りのほんの一部を紹介しましょう。

● 溪流釣り 春から残雪の中、溪流を釣り上がりアマゴ・イワナを獲物とし源流部まで釣行。釣果は歩いた距離に比例する。ほぼ沢登りに近く、中々危険性を伴う。



大物ゲットでドヤ顔の小幡会計

● 磯釣り グレ釣りチヌ釣りイシダイ釣り。コツは潮の流れと水温と海底を読む事。荒波打ち寄せる荒磯に渡礁し獲物との格闘。これが更に危険極まりない釣り。

● 鮎の友釣り オトリ鮎を泳がせて攻撃してくる鮎を掛ける。鮎の縄張りを持つ習性を利用した奥の深〜い釣り。オトリ鮎を弱らさず操る技術と仕掛け作りの差が極端に釣果の差を生む。川底の石の状態と鮎の動きを思い浮かべオトリ鮎を送り込む。私的には難しい釣りの代表格かと言える。

● ジギング こちらは船に乗って重い重いジグ（疑似餌）を一日中シャクリ続けブリやマグロを狙うという苦行の様な釣り。釣行後は必ず筋肉痛に襲われる。

これから釣りでも始めようという方にお勧めはイカメタル釣り、タチウオテンヤ釣り、キス天秤釣、タイラバ釣り、タコジグ釣りなど数々御座います。船は弱いという方には船酔い対策に効果靦面の薬も市販されているのでご安心を！

良く言われるのだが釣りは短気で好色者が向くという。いつ迄も同じ釣り方では釣れない。手を変え品を変え魚の気持ちになり駆け引きを楽しむ。何となく納得出来る気がする。

いずれにしても釣りの醍醐味は釣れても釣れなくても獲物に相對するプロセス。準備は勿論だが後片付けも次回の釣行に想いを馳せて楽しむ。そして何よりも一緒に釣行する仲間との強い絆。釣果は競っても掛替えの無い友情が生まれる事は間違い無し。

皆様も是非とも魚釣りに行ってください。一味違った素晴らしい人生と美味しい魚を堪能してみませんか！

■西日本区大会情報

いよいよ開催!!

Let's do it now

2022に向けて誇りを持って
All is well.

2021年 6月5日(土)／6日(日)
ワイズメンズクラブ 国際協会
第24回西日本区大会

大会会場 / 懇親会 : ウェスティン都ホテル京都



■理事事務局から

理事事務局からお詫びとお礼

表彰状は西日本区大会後、各クラブ会長様に送らせて頂きます。

ワッペンにつきましては諸事情により、今期作成ができませんでした。

誠に申し訳ありません。

今期の理事通信も最後となりましたが、楽しんで頂けましたでしょうか？

みなさま、1年間本当にお世話になりありがとうございました。

